

経営理念について学びました！

千葉経営研究会7月例会での古田土満氏からの講演より

先日、7月21日に千葉経営研究会の7月例会がありました。

今回は経営発表がメインです。合計8社からのプレゼンテーションがあり、会員メンバーから質疑応答やアドバイスがあり、他社の事例から自分に置き換えると、学ぶことが本当に多い例会でした。

又、今回は、安並委員長からの熱い想いで古田土会計の古田土さんから講演がありました。

多くのヒントや、会計から俯瞰した鋭い視点には、心が痛かったです。

そんなことで、私なりに古田土さんからの講演から、気づいたことや学んだことをまとめてみました。

古田土会計さんの経営計画書を元に講演があり、その中に多くのヒントがありました。

ポイントは3つ

①経営者の仕事は……何か？

儲かる会社には、儲かる商品・サービスがある！

多くの会社の経営を見ている中で、共通することは……儲かっている会社には法則があることです。

いかがですか？

あなたの会社には、儲かる商品やサービスがありますか？

…これには、私自身も納得。

では、どうやって「儲かるビジネスモデル」を創るのか？そこで次のポイントになります。

②経営者の仕事は、経営理念、事業計画、基本方針、戦略まで

特に私が気になったのが長期事業構想です。

長期事業構想とは、未来像です。

Step1社員の未来像

Step2組織の未来像

Step3事業の未来像

社員の一番の関心ごとは……自分の未来です。だから社長の考え方や方針が重要なんですね。

③最後は経営理念です。

経営理念は、志であり、全社員で共有するもの。

…だから会社は社員を守る。社員は家族を守る。

古田土会計の経営理念では、順番の一番上が社員のこと、二番目がお客様のことになっています。

一、社員の幸せを追求し、人間性を高める。

(1) 一生あなたと家族を守る(会社が全従業員に約束します)

(2) よい習慣を身につける。

(3) 常に考え行動する。

二、お客様に喜ばれ、感謝される。

- (1) 原理・原則にのっとった正しい経営をするように導く。
- (2) 数字に強い経営者・幹部・社員を育てる。

人が幸せになるために会社があります。

人が幸せになるとは、お金を稼ぐことでも、名誉を得ることでもありません。

人としての「思いやり」「熱意ある誠実さ」「素直さ」「感謝する心」「心の美しさ」などの資質を高めることです。

会社は人間性を高める場所です。

人間性は苦勞して初めて磨かれていくものです。

よって苦勞することを我々は生き甲斐とする。

経営ビジョン(お客様と共有する)

日本中の中小企業を元気にする！

<経営のヒント>

古田土さんは、商品・サービスに関する方針は社長の仕事と断言しています。

儲かる商品やサービスを考え、つくりあげることは戦略だからです。

そして、その商品やサービスを付加価値を付けて販売することは社員が自分主体で考え実行する。

その結果として利益が出る！

利益は社員の創造性の集まり。

だから、結果としての数字をチェックしなければならない。

売上と利益目標の事業計画書を作り、予実管理する「数字」が重要なことです。

数字は前年や予算と実績を比較することで、見えることが多くあります。

私自身の経験では、初めに入った企業(中堅から大企業のカテゴリ)では、全社員が当たり前のように、自分の商品や取引先の売上や利益を毎月は当たり前、毎日・旬報にて確認していました。

では、中小企業ではどうでしょうか？

社員が自ら、どれだけ、数字に対して責任を持っているのか？

最後に大きなパラダイムシフトは、お客様主体から社員の幸せに KSF(成功の鍵)は変わったのですね。

私自身も、理念の重要度の順番を変える必要を感じております。